

病虫害防除体系

防除時期	播種時	緑化期	田植え時	6月下旬	15日穂前	出穂前	出穂期	10日後	乳熟期
病害虫名	苗立枯病			葉いもち病 紋枯病	稲こうじ病	穂いもち病 穂いもち病 紋枯病 ウンカ	セジロウンカ 枝梗いもち カメムシ ウンカ	カメムシ	カメムシ ウンカ
基幹防除	ナエファイブフロアブル 1000倍希釈			稲名人箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/イナゴ類 フタオビコヤガ/いもち病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日	液剤体系 モンカットフロアブル 1000～1500倍希釈	稲こうじ対策剤 稲こうじ病	ブラシントレパリダ水和剤(選択) 500倍希釈し、60～150L/10a いもち・紋枯病、ウンカ類	スタークル液剤10(選択) 1000倍希釈し、60～150L/10a カメムシ・ウンカ類等	ホソハリカメムシ スタークル液剤10
	稲大将箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/イナゴ類 フタオビコヤガ/いもち病/紋枯病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日			粉剤体系 フルスロットル箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/いもち病/紋枯病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日	モンガリット粒剤 3～4kg/10a 収穫45日前まで	アミスタートレボンSE(選択) 1000倍希釈し、60～150L/10a いもち・紋枯病、カメムシ・ウンカ類等	トライクフロアブル(選択) 1000倍希釈し、60～150L/10a いもち病、カメムシ・ウンカ類	カメムシ吸汁による斑点米 1000倍希釈し、60～150L/10a カメムシ・ウンカ類等	
	フルスロットル箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/いもち病/紋枯病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日			粒剤体系 ルーチンブライト箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/イナゴ類 いもち病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日	モンガリット粒剤 3～4kg/10a 収穫45日前まで	ブラシントレパリダ粉剤DL 3～4kg/10a いもち・紋枯病、ウンカ・イナゴ・カメムシ類等	ノンプラストレボン粉剤DL(選択) 3～4kg/10a いもち病、カメムシ類・ウンカ類等	クモヘリカメムシ スタークル粉剤DL 3kg/10a カメムシ・ウンカ・イナゴ類、フタオビコヤガ等	
	ルーチンブライト箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/イナゴ類 いもち病 <使用時期> は種時(覆土前)～移植当日			トリプルキック箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/いもち病/紋枯病/稲こうじ病 <使用時期> 移植3日前～移植当日	粒剤体系 デジタルメガフレア箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/カメムシ類/いもち病 <使用時期> 移植3日前～移植当日	枝梗いもち病 枝梗いもち カメムシ ウンカ	スタークル豆つぶ 畦畔から投げ込める豆つぶ型の殺虫剤。水深を3cm程度にしてから散布。出穂7～10日後が散布適期。250g/10a	シラホシカメムシ トゲシラホシカメムシ	
	デジタルメガフレア箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/カメムシ類/いもち病 <使用時期> 移植3日前～移植当日			省力体系 デジタルメガフレア箱粒剤 <主な適用病害虫> 水稻初期害虫/ウンカ類/カメムシ類/いもち病 <使用時期> 移植3日前～移植当日	モンガリット粒剤 3～4kg/10a 収穫45日前まで	デジタルメガフレアは穂揃期までカメムシの防除効果が持続します。但し、状況に応じて、防除が必要。	スタークル豆つぶ 畦畔から投げ込める豆つぶ型の殺虫剤。水深を3cm程度にしてから散布。出穂7～10日後が散布適期。250g/10a	トゲシラホシカメムシ	

※近年稲こうじ病が多発しています。発生が見られた圃場は翌年も発生が予想されますので、適期の予防に努めましょう。